

# ポストコロナ時代の都市におけるモビリティ形成

COVID-19 の世界的流行は、特に都市環境において、人々の生活や移動の仕方を変えた。多くの都市がウィルスとの共生に移行することで、より持続可能で強靱かつ公平な交通システムを作り出す挑戦及び機会を提示している。本報告書は、COVID-19 の世界的流行の中で都市のモビリティがどのように変わったかを人々の働き方の変化に焦点を当てて検討する。国際的なベストプラクティスの検証に基づき、本報告書はポストコロナ世界における、より良い都市モビリティへの助言を提供する。

## 政策提言

- 「予想し、提供する」交通計画ではなく、「決定し、提供する」アプローチに変える。
- コロナ禍からの回復を活用して、サービスや機会の物理的及び仮想的アクセシビリティを改良する。
- 都市スペースの車両から人への再配分を加速する。
- 交通サービスを分散化及び多様化し、様々な移動目的や利用者に応える。
- 地方自治体に適切な資金と意思決定権限を与えて、COVID-19 の世界的流行後の交通変革に対応できるようにする。